

令和2年度第5回経営協議会議事要録

日 時 : 令和2年11月19日(木) 13:30 ~ 14:46

場 所 : Web 会議(事務局棟3階特別会議室 ほか)

出席者 : 原田 信志、市川 聡夫、松本 泰道、宇佐川 毅、谷原 秀信、有松 正洋、
鈴木 桂樹、谷 時雄、富澤 一仁、桑野 幸徳、郷 通子、崎元 達郎、
平田 雄一郎、福島 絵美、村田 信一、古荘 文子、吉丸 良治

欠席者 : 甲斐 隆博、田嶋 徹、芳賀 義雄

陪 席 : 園田 隆則、立石 和裕、清水 聖幸、大谷 順、深町 公信、宮瀬 美津子

○ 新任委員等の紹介

議長から、参考資料に基づき、新任委員(平田機工株式会社代表取締役社長・平田 雄一郎 氏)の紹介があった。

議 題

1. 国立大学法人ガバナンス・コードにかかる本学の適合状況等について

議長から、資料1-1・1-2に基づき、文部科学省、内閣府、国立大学協会の三者から成る三者協議会により策定された国立大学法人ガバナンス・コードについて、各国立大学法人における適合状況等の報告書の作成依頼があった旨説明があった。

引き続き議長から、資料1-3を基に適合状況等の報告書を作成することについて提案があった後、種々意見交換が行われ、審議の結果、原案のとおり了承された。

なお、議長から、本件に関する追加意見がある場合、会議終了後、資料1-4により連絡願いたい旨依頼があった。

また、議長から、本件については、1月開催の本会議に附議の上、2月末までに本学ホームページにおいて適合状況等の報告書を公表する旨附言があった。

(意見交換の概要は次のとおり。◇は委員からの質問・意見、◆はそれに対する回答等)

◇ 補充原則1-4②について、人材を計画的に育成するための方針を明文化せず、また、公表しないことは、文部科学省や関係機関から、熊本大学は消極的ととられることは無いか。

◆ 学内の教職員向けの育成基準を設けることは、学外から多様な人材を幅広く求めるにあたり障害となる可能性がある。また、ガバナンス・コードについては「コンプライ・オア・エクスプレイン」を基礎としているため、「実施していない理由」を十分に説明するのならば必ずしも従う必要がないとされている。

◇ 補充原則1-4②については、次期学長の人材養成に関する項目なのか。

◆ 学長に限ったことではない。

2. 令和2年人事院勧告に伴う熊本大学役職員の給与等について

議長から、令和2年人事院勧告に伴う熊本大学役職員の給与改定について審議願いたい旨提案があった。

次いで事務部から、資料2に基づき、令和2年人事院勧告の内容及び給与改定の概要について説明があり、種々意見交換が行われ、審議の結果、原案のとおり了承された。

(意見交換の概要は次のとおり。◇は委員からの質問・意見)

◇ 医療人に限らず、教職員は遠隔授業のコンテンツ作成等、新型コロナウイルス対策に関連し業務量が増加しているので、良い案だと感じる。

報告連絡

1. 寄附講座の設置及び設置期間更新について

議長から、資料3に基づき、次のとおり寄附講座の設置及び設置期間の更新を行うこととなった旨報告があった。

○ 病院「新興感染症対策寄附講座」の設置

- ・ 設置期間：令和2年11月1日～令和7年10月31日（5年間）
- ・ 寄附者：熊本市

○ 病院「消化器癌先端治療開発学寄附講座」の設置期間更新

- ・ 更新期間：令和2年10月1日～令和5年9月30日（3年間）

○ 病院「次世代外科治療開発学寄附講座」の設置期間更新

- ・ 更新期間：令和2年12月1日～令和5年11月30日（3年間）

2. 令和2年度上半期資金運用報告について

事務部から、資料4-1・4-2に基づき、令和2年度上半期資金運用について報告があった。

3. 令和元事業年度財務諸表の承認について

議長から、令和元事業年度財務諸表について、8月31日付けで文部科学大臣から承認された旨報告があった。

次いで事務部から、資料5-1～5-3に基づき、各財務指標の分析結果等について説明があった後、種々意見交換が行われた。

(意見交換の概要は次のとおり。◇は委員からの質問・意見、◆はそれに対する回答等)

◇ 従来の財務レポートに比べ、様々なトピックスが増え読み応えがある財務レポートになっているので、ホームページを含め広く公表していただきたい。

◆ 幅広く広報できるよう方策を検討する。

4. 災害救助法の適用に伴う災害への経済支援について

議長から、令和2年7月3日からの大雨による災害により被災した学生への入学検定料等の免除に関する特別措置の実施を決定し、本学ホームページ等において公表している旨報告があった。

その他

本学に関し、自由な意見交換が行われた。

(意見交換の概要は次のとおり。◇は委員からの質問・意見、◆はそれに対する回答等)

- ◇ 大学によっては、コロナ禍によるアルバイト等の収入減により生活に困窮する学生への修学支援を行っているが、熊本大学でも行ったのか。
- ◆ 学生の申請に基づき、新型コロナウイルス感染症拡大に伴い支援が必要な状態となったと認定された学生に対し、熊本地震の際の寄附金の一部を流用し、一人あたり1ヶ月10万円を2ヶ月分、計20万円の支援を行った。今後も学生に対し現状の調査・検証を実施し、継続的な支援を行っていききたい。
- ◇ 熊大のイメージ動画をテレビで見かけるが、放送は熊本県のみか、それとも九州全域か。コロナ禍にある中、見ると元気がでる素晴らしいCMだと感じる。
- ◆ CMの契約会社が熊本県民テレビのため、熊本県民テレビの放送地域で見ることができる。また、熊本県及び福岡県の一部の映画館でCM放映を予定している。
- ◇ 素晴らしいCMなので、できれば学生が視聴できる時間帯や学生が興味のある番組と併せて放映できればなおよい。また、最近の学生はスマートフォンで動画を見ることが多いので、学生の興味がある内容をネット配信すると効果があると感じる。
- ◆ 広報活動は費用対効果を計ることが困難なため、今後も検証を続け、効果的な広報活動を行っていききたい。

以 上

○ 次回開催：令和3年1月21日(木)学長選考会議終了後(予定)

<配布資料>

参考資料	国立大学法人熊本大学経営協議会名簿
資料 1	国立大学法人ガバナンス・コード
資料 1-2	国立大学法人ガバナンス・コードにかかる各国立大学法人の適合状況等の報告について(報告)
資料 1-3	国立大学法人ガバナンス・コード適合状況等調査表
資料 1-4	国立大学法人ガバナンス・コードにかかる適合状況等への意見書
資料 2	熊本大学役職員の給与改定について(案)
資料 3	寄附講座の設置及び設置期間更新について ほか
資料 4-1	令和2年度上半期資金運用実績報告
資料 4-2	令和2年度上半期資金運用報告
資料 5-1	令和元事業年度財務諸表の承認について(通知)
資料 5-2	熊本大学の財務分析(財務指標の推移)
資料 5-3	財務レポート(令和元事業年度)